

世界No.1のクラウド動画管理システム

Eagle Eye クラウドVMS

ご紹介資料

2022年 7月 株式会社イグアス

目次

- ▶ Eagle Eye Networks(EEN)とイグアスについて
- ▶ Eagle EyeクラウドVMSの特長
- ▶ Eagle Eyeのメリット
- ▶ Eagle Eye 次世代クラウドベースVMS全体図
- ▶ 従来のVMS(動画管理システム)
- ▶ Eagle Eyeの優位性
- ▶ Eagle Eyeの卓越したスケーラビリティ
- ▶ Smart Video Search スマート映像検索
- ▶ サードパーティアプリとのAPI連携による拡張性
- ▶ 導入事例 お客様課題とEagle Eye採用のポイント
- ▶ Eagle Eye サンプル構成
- ▶ クラウドのコスト構造

cf.) VMS=Video Management System=動画管理システム

Eagle Eye Networks (EEN)とイグアスについて

沿革

- 2012年7月 バラクーダネットワークスの創業者ディーン・ドレイコ氏がEENを設立
- 2015年1月 イグアスがEagle Eyeを販売開始
- 2015年3月 イグアスがSECURITY SHOWにEagle Eyeを初出展
- 2018年9月 EEN が日本法人を東京に設立
- 2019年2月 EENが 日本オフィスを2倍に拡張
- 2020年10月 EENが有名ベンチャーキャピタルのアクセルから4000万ドルを調達
- 2020年11月 イグアスがEENからRegional Distributor of the Yearを受賞
- 2020年11月 SHIPS様導入事例を公開 <https://youtu.be/OzxU8enlbiA>

Eagle EyeクラウドVMS の特長



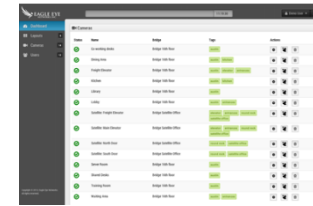
ライブ & 録画ビデオ

- 端末を問わない
- いつでも、どこでも
- SWのインストール不要
- SWのアップグレード不要



モバイル接続

- ライブ視聴
- 録画視聴
- 検索
- マルチサイト視聴
- カメラ設定



ユーザーインターフェース

- 無制限ユーザーアクセス
- マルチサイト視聴
- 役割毎のアクセス管理
- ユーザーアクティビティのログ取得
- カメラ設定



通知

- モーションアラート
- カメラ障害アラート
- インターネット障害アラート
- アクティビティレポート

¥¥

TCO削減

- ローコストのクラウドストレージ
- 柔軟なストレージ (クラウドorオンプレミス)
- 帯域幅管理
- 低い初期投資
- HW/SW保守不要



幅広いカメラ対応

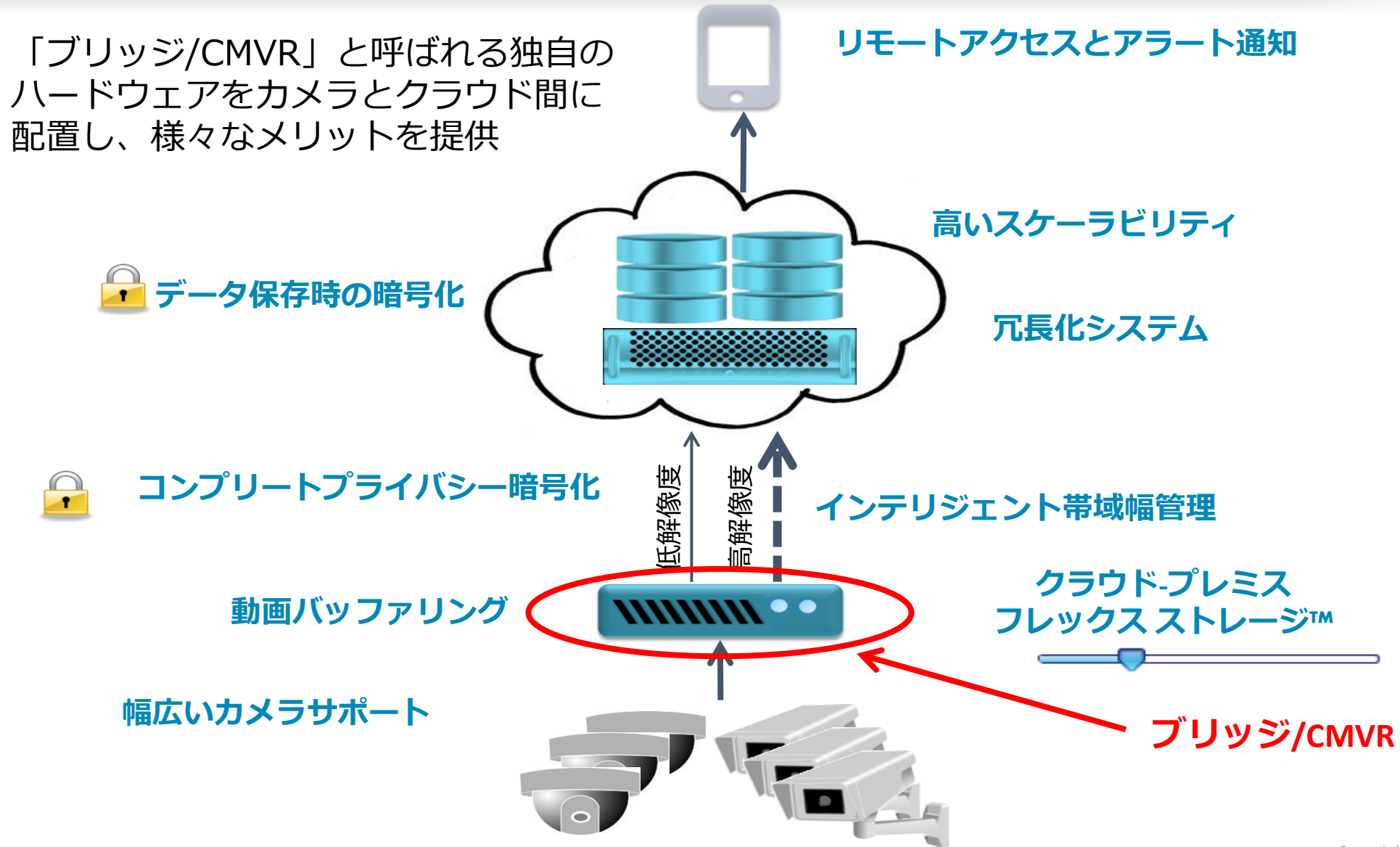
- ONVIFプロファイルSカメラ
- アナログカメラ

Eagle Eyeのメリット

下記のご要件に合致するものが多いほどメリットは大きくなります

- 導入や保守管理を簡素化したい
- サイバーセキュリティは高いほどいいがコストは押さえたい
- HDD故障や災害対策でクラウド録画保存は安心
- データセンター障害時でも録画が失われないようなシステムがいい
- 障害発生時にすぐに認識できるような通知がほしい
- 多拠点を一括監視したい
- スマートフォンによるモバイルアクセスもほしい
- ユーザー権限を細かく設定したい
- 防犯に加え業務改善目的でも利用したい
- カメラの選択肢は広い方がいい
- 既存カメラ、ローカル録画を活用したい
- カメラ台数が多いができるだけコストを抑えたい
- インターネット回線は最大限有効活用したい
- ライブ配信したい

Eagle Eye 次世代クラウドベースVMS全体図



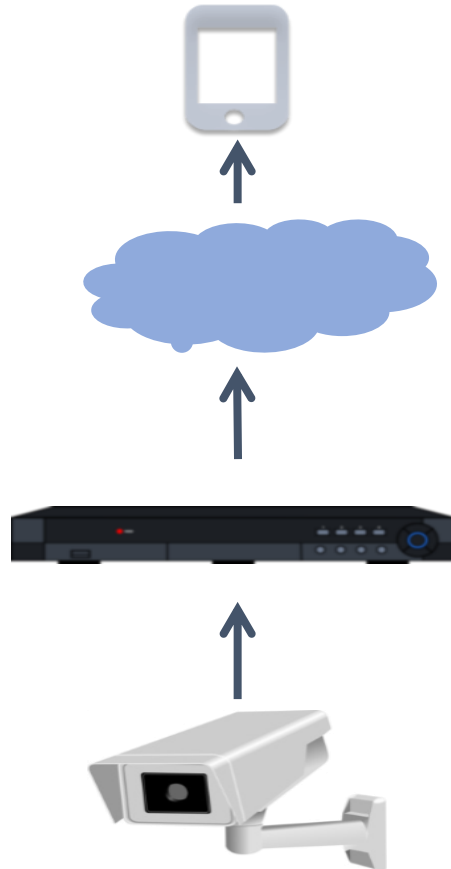
従来のVMS(動画管理システム)

DVR/NVR/VMS
リモートアクセス付き

セキュリティが脆弱

高いHW/SW
インフラコスト

柔軟性のない
ストレージ

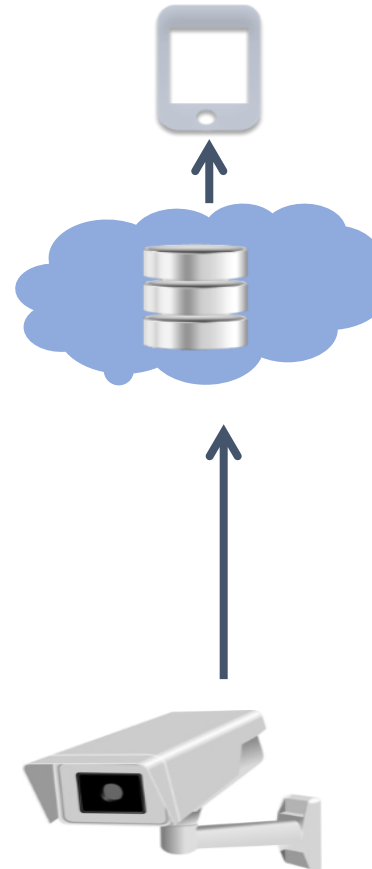


他社クラウドVMS

スケーラビリティ
に制約

高い帯域幅消費

カメラ選択に制約



Eagle Eyeの優位性

オンプレミスVMSや他社クラウドVMSと比較し、以下のような優位性があります

	Eagle Eye	オンプレミスVMS
サイバーセキュリティ脆弱性への対応	○	外部からのアクセスに対し脆弱
データのセキュリティ	○	内部からの録画持ち出しや破損リスク
停電対策/耐震対策/データバックアップ(冗長化)	○	追加の対策(投資)が必要
遠隔サポート	○	現地に赴く必要性大

	Eagle Eye	他社クラウドVMS
クラウド側問題による録画損失への対応	○	録画損失のリスクあり
ネットワーク帯域幅管理	○	転送データ量は制御できない
アナログから4Kまで広範囲なカメラ対応	○	機種が限定される
細かいユーザー権限設定	○	ユーザー権限設定に制約大

Eagle Eyeの卓越したスケーラビリティ

カメラ台数、録画保存場所（クラウド/オンプレミス）に合わせ、最適の選択が可能
録画保存期間は、7日から5年まで設定可能



	ブリッジ				CMVR		
モデル	304+	310	401	410	430	520	820
IPカメラ数	20	16*	35	32*	32*	50	165
アナログカメラ数 (BNC)	-	8	-	16	16	-	-
サイズ (cm)	13 X 18 X 7	43 X 31 X 5 (1U)	43 X 31 X 5 (1U)	43 X 31 X 5 (1U)	43 X 31 X 5 (1U)	44 X 51 X 4 (1U)	44 X 65 X 9 (2U)
オンプレミスバッファリング	2日	2日	2日	2日	2日	2日	2日
オンプレミスストレージ	-	-	-	-	6 TB	17 TB RAID	55 TB RAID

*1台の未使用アナログカメラにつき2台のIPカメラを使用可能

Smart Video Search スマート映像検索

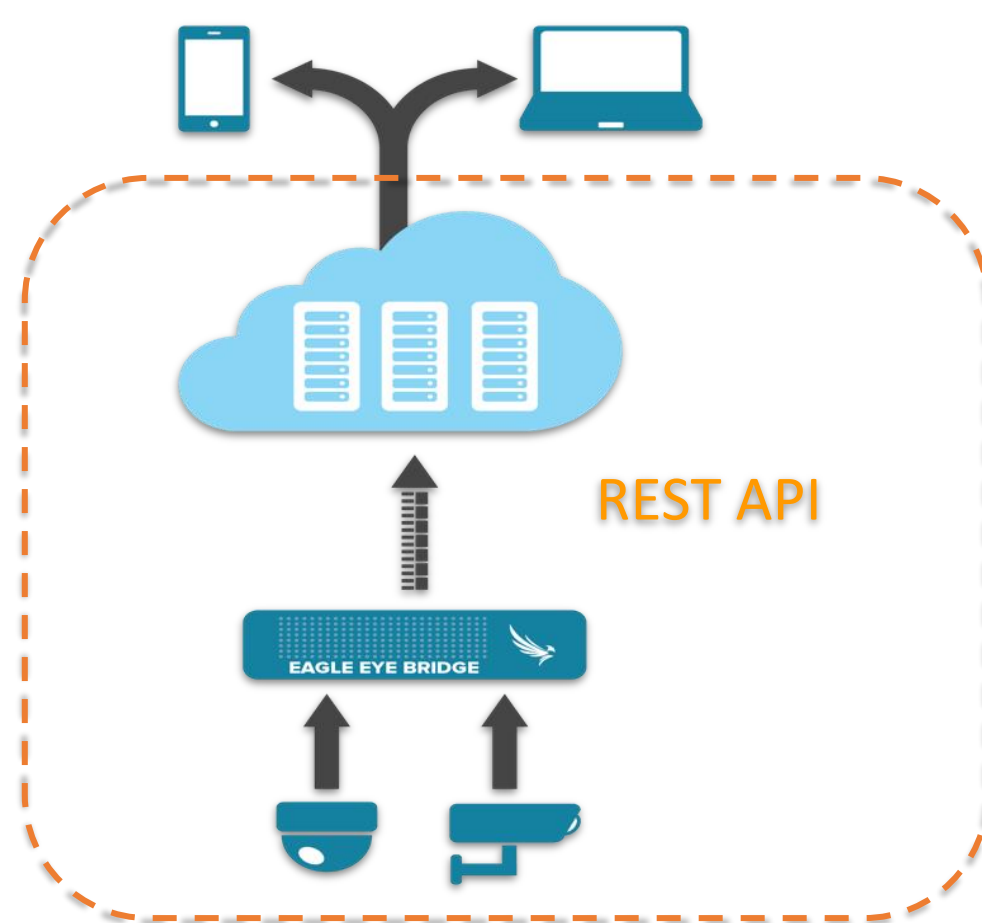


- ✓ New approach to finding the right footage
正しい映像を見つけるための新しいアプローチ
- ✓ AI-based image characterization
AIによる画像の特性評価
- ✓ Natural language-based search
自然言語ベースの検索
- ✓ Multi-Site Search
複数拠点での検索
- ✓ Near Real-Time Results
ほぼリアルタイムの結果表示

True Cloud VMS with best-in-class AI
業界最高水準のAIを搭載した真のクラウドVMS

サードパーティーアプリとのAPI連携による拡張性

サードパーティー製アプリとのAPI連携により、様々なご要件への対応が可能



例)

作業映像一発検索システム

…検品や梱包作業を一発検索してクレームに対応

POSデータ連携映像検索システム

…POSの売上データに紐付けて内部不正を監視

SwiftSensors

…センサーと連携して温度等の異常状況を監視

SALTO

…入退室管理システムとカメラが連動

VAAK…AI画像解析ソリューションとの連携

最新導入事例

お客様：介護施設（高齢者向けマンション）
 拠点数：1拠点（8階建）
 ブリッジ：501 x 2台（事務所に設置）
 カメラ台数：50台（DM08 x 47台、DB10 x 3台）
 解像度と保存期間；SD、30日保存
 インターネット回線：専用(1回線増設)
 競合：オンプレミスVMS

勝因：

- ・既存VMSで録画されていない問題があり、お客様側にクラウドの可用性への期待があった
- ・お客様がWebでサーチした際、問い合わせをしたくなる位リセラー様のWebの作りがうまかった
- ・イグアスがリセラー様に同行してヒアリングし、これまでのノウハウを生かしてお客様ニーズに応える提案、対応支援を行った
- ・ **Eagle Eyeはオンプレに比べ解像度や録画期間を落とせば安くできるため、価格的にフレキシブル**
- ・ Eagle Eyeだと解像度SDでも運用可能な画質を実現可能
- ・ 1拠点のみで50台程度のカメラというクラウドでは苦手とされていた案件でも、お客様ニーズに合わせてオンプレに勝てることが証明された
- ・ **これだけのカメラ台数でクラウド保存だとセーフイー等の他社クラウドVMSでは対応できないため、競合がない**

最新導入事例（未公開）

お客様：ディスカウントストア

拠点数：3拠点

ブリッジ：16台

カメラ台数：100台

Rev: 初期 約350万 サブスク 年間約190万

解像度と保存期間；HD、30日保存(8月開始予定)

インターネット回線：相乗り(1回線)

競合：セーフイー

勝因：

- ・お客様側にクラウドへの移行の予定があった
- ・弊社リセラー様がお客様の電話システムで従来から取引があり、ネットワーク工事とカメラの相談を受けた
- ・イグアスがリセラー様に同行してヒアリングし、これまでのノウハウを生かしてお客様ニーズに応える提案、対応支援を行った
- ・ **Eagle Eyeはネットワークの帯域制御ができるため、既存回線への相乗りが可能**
- ・ **これだけのカメラ台数でクラウド保存だとセーフイー等の他社クラウドVMSでは対応できないため、競合がない**

導入事例 お客様課題とEagle Eye採用のポイント



アパレルショップ

- ・万引きの際には警察への情報提供のため、店舗でビデオをダビングしなければならなかった
- > 本社から対応可能に
- ・ショッピングモール店舗が多くネットワーク帯域が細い
- > バッファリング機能により既存回線で運用可能



学校

- ・校地が広くLANが行き届かないため、全カメラが一度に表示できない
- > クラウド化によって全カメラの一括監視が可能に
- ・警備員が有事の際に現場に急行した際も画像を見たい
- > スマホでPCのモニターと同様の画面が確認可能に



河川監視

- ・通常のカメラでは夜間の監視が充分できないので高感度カメラで監視したい
- > Eagle Eyeなら対応カメラが多いため対応可能
- ・多拠点を一括して監視したい。また地図上に拠点を表示したい
- > Eagle EyeならGoogleマップ上から拠点表示が可能



宅配クリーニング

- ・店舗のようにお客様と対面しないため、破損等のクレームが入ることある
- > 箱詰め前の工程を録画することにより破損がないエビデンスを残す。API連携で納品伝票と録画が連携し、クレームがあった際に録画を探すのも簡単。クラウドなので長期間録画でも安価

導入事例 お客様課題とEagle Eye採用のポイント



ビル管理会社

- ・既存のカメラを活用して監視システムをクラウド化し、コストを抑えたい
- > Eagle Eyeは対応カメラが多い
- ・IPカメラとアナログカメラ（エレベーター内）を混在させて使いたい
- > Eagle Eyeは混在可能



保育園

- ・入園当初は保護者からのアクセスが集中してレスポンス低下
- > クラウド化でローカルネットワークのボトルネック解消
- ・保護者に見せるカメラは限定したい
- > Eagle Eyeはユーザー毎にアクセス権を限設定可能



ガス供給会社

- ・ライフライン管理という重要性から厳格なサイバーセキュリティ対策が必要
- > Eagle Eyeは外部への漏洩や無権限者からのアクセスを防御
- ・システム・メンテナンスの負担が課題
- > クラウドシステムを使用するため、録画機器のメンテナンスの必要がない



飲食店チェーン

- ・新規店舗での新人の働きぶりに不安がある
- > マネージャーがリモートでチェックし、改善を指導
- ・外国人従業員が増え、レジの不正（現金抜き取り）が増加
- > レジのジャーナルとEagle EyeをAPIで連携し、不正行為の現場を検知して録画

Eagle Eye サンプル構成

IPカメラ 本番機セット

初期費用

Eagle Eyeロケーションセットアップ費

Eagle Eyeカメラ

	数量	標準価格	提供価格	金額
Eagle Eyeロケーションセットアップ費	1	オープン	¥105,000	¥105,000
Eagle Eyeカメラ	1	オープン	¥28,000	¥28,000
			計	¥133,000

月間費用(サブスクリプション)

クラウド録画

クラウド録画	1	オープン	2,800	2,800
			計	¥2,800

備考)

- ・上記は構成の一例です。お客様の要件、環境により、適合する機器構成は異なります。
- ・消費税が別途かかります。標準価格はオープンですので、提供価格は変動します。
- ・為替変動等の理由で価格が変更となる可能性があります。
- ・インターネット回線の準備および回線料は別途必要です。
- ・設置調整費、工事費、LANケーブルは別途必要です。
- ・ブリッジはレンタルですのでサブスクリプション契約終了時には返却が必要です。
- ・対応IPカメラのリストは下記URLをご参照下さい。

<http://www.eagleeyenetworks.com/support/camera-compatibility/>

クラウドのコスト構造

サブスクリプションはTCOを下げるものですが、見積明細に記載されない限りわかりません

TCO の明示的(見積に現れる)要素

- HW、SW、設置調整費、保守費、等

TCO の暗示的(見積に現れない)要素

- 設置調整費／保守費(システム構成 & OSバックアップ、OSセキュリティパッチ、ルーター設定、リモートネットワークアクセス、SWアップデートのインストレーション、PCクライアントのSWインストール/アップグレード、集中管理、複数サイトの統合、カメラ追加、冗長化、モバイルアプリ、ビデオのバックアップ、モニタリング & アラート、障害/不正使用の修復等)、ITスタッフの人件費、トレーニング、サイバーセキュリティーの専門知識と維持努力、機器の置き場所、電力等

→ サブスクリプションはこれらの負担の多くを削減します

iguazu

The logo for 'iguazu' features the word in a bold, lowercase, sans-serif font. A blue horizontal bar is positioned above the text, starting from the left and ending with a curved, arrow-like shape pointing to the right, partially overlapping the top of the letter 'u'.